

理系女子のロールモデル探し!

先輩に聞く!

vol.
3



プログラマーへの 道しるべ

情報

オリンピック

Presents



世界中の中高生が競う!

情報オリンピックとは?

1 「情報」を対象とした科学オリンピック

国際科学オリンピックは、世界中の中等教育課程の生徒や学生（日本では主に中高生・高専生）を対象に、科学の分野ごとに毎年開催される国際コンテストのこと。このなかで、情報科学（informatics）にフォーカスした大会が、国際情報オリンピックと呼ばれます。1989年にブルガリアで第1回国際情報オリンピックコンテストが開催。2018年には第30回大会が日本で開催されました。

2 競うのは、効率的で優れたアルゴリズム

課題を解決するための方法や計算手順であるアルゴリズムを考案し、プログラムとして実装することによって、その優劣を競い合います。例えば、1本のにんじんから星形を20個つくる場合、「輪切り」からつくる場合と「あらかじめ星形に切った」にんじんからつくる場合とでは、その工程に190回もの差が生じます。今話題となっているAIも優れたアルゴリズムの結晶です。



日本代表選手を選抜

日本情報オリンピック



参加者募集!

第4回 女性部門

JOIG2023 / 2024

第4回ヨーロッパ女子情報オリンピック (EGOI 2024)



山口利恵

情報オリンピック日本委員会 理事 / 東京大学 准教授

IT企業で活躍する女性の先輩5名に話を伺いました。得意のプログラミングでエンジニアとして働く方もいれば、知識を生かして広報などに携わる方も。ものづくりが好きな方は、一度挑戦してみると楽しいかもしれません。プログラミングができると、将来の選択肢が広がりますよ。ぜひ今後の進路の参考にしてみてくださいね。

2023年度開催日程

JOI 一次予選と共通

- 第1回 2023年 9月16日(土)
- 第2回 2023年10月15日(日)
- 第3回 2023年11月18日(土)

JOIG 本選

2024年1月21日(日)

オンラインで開催

JOIG本選競技成績上位者(原則として、金賞・銀賞・銅賞各1名)にはメダルと副賞を授与。また、成績優秀者を表彰します。JOIG本選競技成績上位者、約10名が春季トレーニングに進出できます。

JOIG 春季トレーニング

2024年3月20日(水)~3月24日(日)

東京都内で実施

期間中に行われる競技結果に基づき、第4回ヨーロッパ女子情報オリンピック(EGOI 2024)へ派遣する日本代表選手(4名)を決定します。

国際大会 EGOI 2024

2024年7月

第4回ヨーロッパ女子情報オリンピック



How is the tournament?

Contents

02 中高生の国際大会! 情報オリンピックとは?

04 先輩に聞く! インタビュー

株式会社NTTデータグループ 北波紘子さん

06 株式会社メンバーズ デブオブスリッドカンパニー 政木優里さん

08 株式会社いい生活 黒江真由さん

10 EGOI 2023レポート スウェーデン大会

12 鈴与シンワート株式会社 上町茉未花さん

14 株式会社インターネットイニシアティブ 松本有香さん

16 役立つwebサイト&参考書一覧



お問い合わせ先

一般社団法人 情報オリンピック日本委員会 (JCIOI) TEL: 03-6681-6591 (平日午前10時~午後5時) E-mail: info@ioi-jp.org

情報オリンピックウェブサイト

<https://www.ioi-jp.org/>

検索

参加費 無料

予選~トレーニングの参加費は無料。交通費は一部を補助します(遠方参加者のみ)。EGOI 2024 派遣費用の一部は自己負担となる可能性があります。

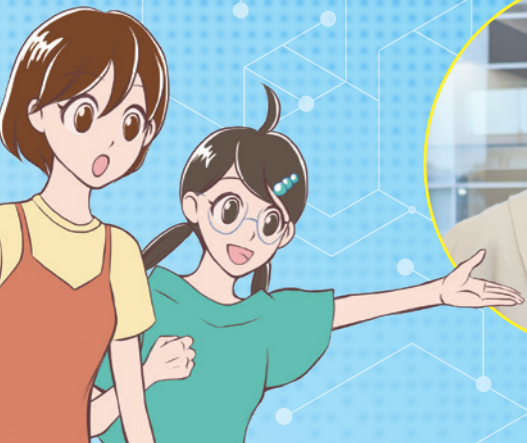
応募資格

高校2年生以下の女性

①本選競技実施時点で、高等学校2年以下であること。②生年月日が2004年4月2日以降であること。

競技実施方法

本年度の実施要領は、こちらの情報オリンピックウェブサイトをご覧ください。



プログラマーの道しるべ

プログラミングやその周辺の技術や知識を使って活動している女性の先輩方に、お仕事内容や学生時代についてのお話を伺いました！



Job: 株式会社NTTデータグループ
技術開発本部IOWN推進室
Name: 北波 紘子さん

Kitaba Hiroko

どんな仕事をしているの？

A. 技術開発やプロジェクト支援に特化した、技術開発本部 IOWN 推進室という部署で、OSS（オープンソースソフトウェア）の支援チームに所属し、OSS を使用している社内のプロジェクト支援や問い合わせ業務に従事しています。OSS とは、ソースコードの改修や配布が自由に認められている無償のソフトウェアのこと。誰でも利用でき、汎用性が高いため、ソフトウェア開発に欠かせない存在です。また、さまざまな企業がこの OSS を使って自社製品を開発しているため、私たちのチームは業界を横断しながら、幅広いプロジェクトを担当しています。将来、世の中に自分の関わったシステムをたくさん残していけたらいいなと思っています。

やりがいはなんですか？

A. 困難を解決したときです。社内にプログラミングに詳しい先輩方や同僚、後輩がいるので、一人では解決するのが難しいプロジェクトでも、周りに協力を得ながら、チーム一丸となって仕事をするのがおもしろいですね。

プログラミングを始めたきっかけは？

A. 大学の授業がきっかけです。それまでプログラミングは難しいものだと考えていましたが、書いたらその通りに動くのがおもしろくて、夢中になったことを覚えています。卒業後は大学院に進むことも考えましたが、就活することになり、好きなプログラミングを生かせる仕事として、プログラマーの道へ進みました。



大学ではどんな研究をしましたか？

A. 芝浦工業大学で機械制御工学を学んでいました。もともと男性が多い学部ですが、私が入った年は例年に比べ女子学生が多く、とても楽しかったです。卒業研究は、軟物体に対する動的モデル推定をテーマにしました。これはロボットが柔らかいものをつかめるようにするための研究で、物体から受け取る反発力などの力を機械側にフィードバックし、どのような対象物かを学習データを用いて動的にモデル推定をし、動作させていました。「柔らかいものをいかにその形状を崩さず持つか」という課題のため、実験にはおまんじゅうを使用していました。私が扱っていたのは食べ物ですが、医療や介護現場など、人と動作するロボットにも応用が期待できるのではないかと考えています。

理系に進んだ理由を教えてください。

A. 文系科目の成績がよかったので、大学は文系に進もうと思っていました。ですが、両親から「理系に進んだほうが将来困らないのでは？」とアドバイスをもらい、結果的に理系を選びました。理系のなかでも農学部に進みたかったのですが、大学見学时、顕微鏡で細菌を観察した際に苦手意識を感じてしまって……。「農学部は無理かもしれない。どうしよう」と悩んでいるときに、テレビ番組で医療現場で活躍するロボットを見て、工学部に進もうと思いました。実は芝浦工業大学に進んだのは、第一希望の大学に落ちたことが理由です。とても悔しくて、入学してからも自分の殻に

こもってばかりでした。しかし、授業を受けるうちに、内容や教授陣のおもしろさに気付き、だんだんと大学を楽しめるようになりました。

中高生にメッセージをお願いします！

A. プログラミングを続けていくと、新しい言語が次々と出てくるため、最新の技術トレンドの把握ができ、新しい言語の習得意欲が湧いてきます。また、どの言語も構造はあまり変わらないので、一つをじっくり身につけたらその応用ができますし、また考えのプロセスにも役立つと思います。プログラミングをするだけでも楽しいですが、その前段の何をつくるのかの要件や設計をすることも楽しいので、さまざまなプログラムを考え、どんどん挑戦してってください。私も頑張ります。

Company Data

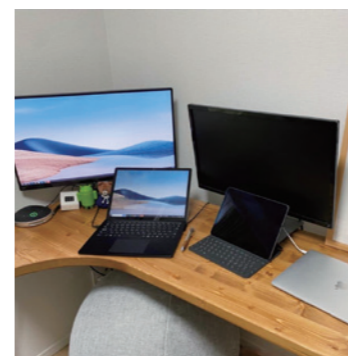
NTTデータ
システムインテグレーション事業、ネットワークシステムサービス事業、その他これらに関する一切の事業を行う。

Comment by Professor Yamaguchi

大変そうな研究を前向きにとらえながら、楽しそうに進めていく様子を想像して、こちらまで嬉しくなりました。いまを楽しめているのは、大学進学時の心の葛藤など、いろいろなことを乗り越えたうえでのことだったのですね。粘り強さを武器に、いまの仕事へと繋げている姿に、感心せずにはいられません。



Hiroko Kitaba's favorites



自宅のエンジニア環境は、モニター2つ、パソコンが2つ、あとタブレットが1つです。引っ越しをしたばかりでまだあまり設備が整っていません。仕事はリモートがメインです。



休日は友人と外国の料理を食べに行っています。この日はシンガポール料理を食べに行きました。東京にはさまざまな国の料理があるので、いろいろと挑戦してみたいです。

プライベートを見てください

Masaki Yuri



株式会社メンバーズ
Job: デブオプスリードカンパニー
DevOps推進グループ
Name: 政木優里さん

Q. どんな仕事をしているの？

A. 株式会社メンバーズ デブオプスリードカンパニーは、DevOps 導入支援の会社です。お客様に対し、スムーズな開発の土台となるような仕組みを提供するべく、個人やチームで業務委託を受けたエンジニアが、バックオフィスメンバーの支援を受けながら働いています。私は、DevOps 推進グループという部署でサーバの立ち上げや運用をしています。また運用するだけでなく、サイトの見た目を整えたり、開発作業がしやすいよう、さまざまなシステムを入れたり、情報の共有などを行っています。
お客様にとっての便利さを追求するのももちろん、内部で一緒に働いているメンバーが快適に開発できるよう、こちらがいろいろと工夫できる点がおもしろいと感じています。

Q. プログラミングを始めたきっかけは？

A. 就職の研修がきっかけです。もともとのつくる仕事には憧れがあったのですが、システムエンジニアという仕事は、理系で情報系の学部を出た人しかできないとい

う先入観がありました。そこで最初は企画職など文系らしい職業を受けていたのですが、就活が苦手であまりいかず……。1年くらい苦戦し、第二新卒の際に、スキルも学歴も問わないエンジニアの求人を見つけ、受けてみることにしました。正直なところ、就活がうまくいかず、半分投げやりになっていた面もあるかもしれませんが、研修でプログラミングを教えてもらったから、すごく面白くて、スムーズに進められました。勉強が好きだったこともあり、本を読んで理解し、実践して身に付けるというサイクルが、自分に合っていたのだと思います。

Q. 大学ではどんな研究をしましたか？

A. 映画の分析・研究を中心に行う、映画表象を専攻していました。卒論では『メトロポリス』(2001) という SF アニメーション映画におけるセルと 3DCG のミックス表現について論じました。手塚治虫の漫画が原作になっていて、巨大な都市を舞台にロボットと主人公の少年の出会いが描かれています。教授が熱心な人で、議論の際にどこかで聞いたような適当なことを言うと、すぐに突っ込んでくれるので、ものごとを深く考えるようになりました。ここで身につけた論理的に考える力は今も役立っていると思います。

Q. 小中学生時代の好きな授業は？

A. 国語が好きで得意でした。小中学生の頃は図書館に入り浸っていて、本や漫画を読んだり、レシピ本を借りて家でおやつをつくらせてもらっていましたね。高校生のときは進学クラスにいたので、あまり時間が取れず、同じように本や漫画が好きな友達とよく話をしていました。「情報」の授業もあって、小学生のときは Windows 2000 が出たので、タイピングをしたり、マウスで絵を描いてフロッピーディスクに保存したりしていました。中学生になると、コピーガードやエクセルについて学びました。プログラミングの授業はなかったのですが、小学校高学年から中学校に上がるタイミングにかけて、ホームページをつくるのがすごく流行った時期があって。特にイラストを描いている人などは自分のホームページに絵を載せていたので、私も HTML でホームページをつくっていました。

Q. 中高生にメッセージをお願いします！

A. プログラミングが好き、機械やウェブには興味がある、けどど理数科目は正直苦手…という人もいるのではないかと思います。確かに、アルゴリズムの実装など、極めるとなると数学のセンスが必要になるものもありますが、高校からほとんど国語、英語、社会しか勉強してこなかった私でも、エンジニアとして働いています。ぜひ好きなことを続けてもらいたいと思います。



基本は自宅でのリモートワーク。普段はパソコン2台とモニター1台で作業をしています(手前のMacは私物)。このデスクは昇降可能で、立って仕事をすることもあります。

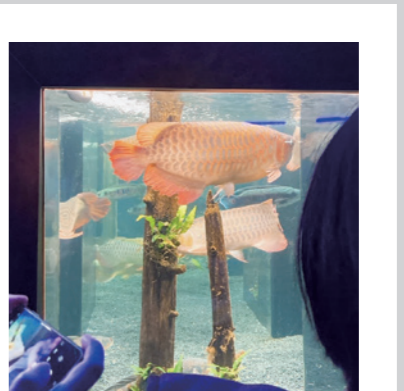
Company Data
株式会社メンバーズ デブオプスリードカンパニー
「DevOps」自由と変化を創造する」をミッションに、DevOps 推進をプロフェッショナル人材によるチーム提供で支援する会社。

Comment by Professor Yamaguchi
大学で学んだ内容とは一見違う仕事をしていても、これまでのさまざまな経験が今の仕事に繋がっているということをお話いただきました。完全在宅の仕事ということで、自宅にスタンディングデスクを置いて、フルに活用しているお話も印象的でした。まるで外国の仕事場で働いているみたいです。

Yuri Masaki's favorites



妹と暮らしていて、料理当番は私。料理が好きなので、仕事の合間に食事をつくらせたり、時間があればお菓子をつくることも。先日はオープンでスコーンを焼いて食べました。



水族館、動物園、博物館、美術館など好きで、あちこち行っています。これは古代魚と言われるアロワナの生態展示を観に行ったときの写真です。近くで見ると美しかったです。

プライベートを
見せてください



株式会社いい生活
ウェブ・ソリューション開発グループ
プロジェクト管理室
Name: 黒江真由さん

Kuroe Mayu

Q. どんな仕事をしているの？

A. いい生活は、不動産会社の業務効率化を支援するシステムやアプリケーションを提供する会社です。例えば、部屋で雨漏りがあったら、まず不動産屋さんに電話をしますが、弊社のサービスを使えば、連絡がチャットでできます。このように入居者と不動産会社のコミュニケーションを円滑にするためのサービスを提供しています。他にも、不動産業界の賃貸仲介・賃貸管理・売買仲介をフルカバーした業務支援システムを10以上展開しています。私はウェブ・ソリューション開発グループというエンジニア部門の、「プロジェクト管理室」という部署に所属しています。エンジニアの採用と広報に携わっていて、私自身がエンジニアではありません。新卒採用の応募をしてくれた方とのメールのやり取りや面接の対応をしています。また、例年8月から9月に開催されるサマーインターンの準備もあります。広報面では、弊社のオウンドメディアとして運営しているnoteに記事を投稿したり、JOIなど協賛させていただいているイベントの対応をしたりしています。



Q. 今後の目標は？

いい生活は世間的には認知度が低い会社だと思うので、もっとたくさんの人に知っていただきたいです。そのためにはオウンドメディアのnoteの運営や、競技プログラミングなどのイベントに協賛させていただいて、弊社のことを知っていただく機会を設けていきたいです。

Q. 仕事で気をつけていることは？

A. 新卒採用に携わっていますが、本選考の際に、面接の前後でアイスブレイクとアフターフォローに入り、学生さんと雑談をしています。特にアイスブレイクでは、学生さんがよりよいコンディションで面接に臨めるよう、緊張をほぐすことを心がけています。面談官をすることもありますが、研究の話などを聞いたときに、それまでよりにこやかに話す姿が魅力的だなと感じます。また、毎年、夏にサマーインターンとして、5日間のアプリケーション開発を実施しています。通常だと、学部3年生や大学院の1年生の方が対象のものが多いと思うのですが、弊社は学部1・2年生など

でも応募できます。インターンは、学生さんに弊社を認知してもらおう手段にもなっています。学生さんたちのなかには、インターン体験記などをブログで書いてくれる方もいて、好評のようでうれしいです。私自身、会社に入るまではいい生活のことを知らなかったのですが、すごくいい会社なので、たくさんの人に知ってほしいです。

Q. IT業界を目指すきっかけは？

A. 大学は経済学部で、マーケティングのゼミに所属していました。文系でしたが、卒業後はITのSES事業を中心としている会社に入社し、インフラエンジニアとして働きました。ITを選んだのは、将来定年まで長く働きたいと考えたときに「今後も需要があるIT業界だったら安定して働けるのではないか」と思ったからです。また、手に職をつけたい!と思い、エンジニア職を希望しました。IT知識はほとんどなかったので、入社してからは研修内容や配属先での業務を必死に覚え、業務外でも基本情報技術者や資格を取得するなど、休み返上で勉強をしました。技術的な勉強がとても楽しかったです。特にITはどんどん技術が更新されるので、学びに底がなく、新しいことを無限に学べる感覚があって、知的好奇心を掻き立てられました。

Q. 学生時代のエピソードは？

A. 大学時代、ビッグバンドジャズを演奏するサークルに所属していました。夏の全国大会や、12月にあるリサイタル、他大学と行うジョイントコンサートや学園祭などに向けて練習をしていました。特に全国大会の練習では、夏休みも毎日練習を重ねて、サークルメンバーと一緒に音楽に打ち

込みました。いまでも当時の録音や録画を見返して、懐かしいな…と振り返るときがあります。社会人となった現在でも一緒に演奏をする機会があり、とてもうれしく思っています。

Q. 中高生にメッセージをお願いします！

A. プログラミングは何年経っても絶対に役立つスキルだと思います。ですから、プログラミングが楽しいという気持ちを持ち続けていってほしいです。プログラミングを続けていくなかで、「社会人になってもプログラミングを続けたい! エンジニアになりたい!」と考えることがあったら、いい生活のことも思い出してくれるとうれしいです。何年後かに、みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています!



Company Data

株式会社いい生活
「テクノロジーと心で、たくさん人のいい生活を」というミッションのもと、「情報テクノロジー×不動産」を通じ、不動産業・不動産市場のDXを推進する事業を展開。

Comment by Professor Yamaguchi

新規採用や広報のご担当ということで、どんな人に会社にきてほしいか伺いました。黒江さんは、IT系の勉強は就職してからはじめたとのことですが、そこからすごく努力をし、IT系の話に詳しいこともあり、話を上手にフォローしながら楽しくエンジニアと話をする姿が目につきました。



Mayu Kuroe's favorites



趣味は中学生の時から続けているトランペットを吹くことです。5つの社会人バンドに所属していて、そのうち1つは私自身が運営メンバーとして活動しているバンドもあります。



コスメが大好きでたくさん持っています。ルナソルのアイシャドウパレットは特に気に入っていて、使い勝手もいいし、眺めているだけでも幸せな気持ちになれます。

プライベートを見せたくださう



大会スケジュール

2023年7月15日(土)～7月21日(金)

- day 0** 7.14 (金) 壮行会 | スウェーデンへ出発
- day 1** 7.15 (土) ルンド到着 | 大会受付
- day 2** 7.16 (日) 開会式 | 練習ラウンド
- day 3** 7.17 (月) 競技1日目
- day 4** 7.18 (火) エクスカーション
- day 5** 7.19 (水) 競技2日目
- day 6** 7.20 (木) 閉会式
- day 7** 7.21 (金) 解散

スウェーデンってどんなところ？

スウェーデン王国 基本情報

面積 約45万平方キロメートル
(日本の約1.2倍)
人口 約1,052万人 (IMF2022年)
首都 ストックホルム (人口約98万人)
(スウェーデン統計庁2022年12月)
言語 スウェーデン語
宗教 福音ルーテル派が多数
参照元: 外務省 スウェーデン王国基礎データ



KINGDOM OF SWEDEN



第3回ヨーロッパ女子 情報オリンピック

スウェーデン大会を レポート!

スウェーデン・ルンドで開催された大会の様子を、写真とともにお届けします! 52か国・地域から189名の選手が参加し、日本は金メダルが1名、銀メダルを3名が受賞しました。

EGOI
2023

参加メンバーはこちら!

左から小田華子さん(高3)、沈展帆さん(高2)、ヘファンン色葉さん(高3)、藤居星さん(高2)
※学年は当時のもの

日本チーム全員で



大会成績は……

**金メダル1個、
銀メダル3個を受賞!**

プラクティス
風景



表彰式の
様子



会場のホテルに
到着!



エクステンジ

EXCHANGE

国際交流を通じ 多様な文化を知る

国際交流も EGOI の大切なテーマのひとつです。バーベキューやゲームを通じ、各国の選手と交流することで、さまざまな価値観に出会うことができました。

初めての経験も
いっぱい



スウェーデン大会写真館

スウェーデンの 美しい街並み

環境先進都市のスウェーデンは、緑豊かな美しい街並みが魅力。公共交通機関も発展していて、日本とはデザインが異なるバスや電車などでの移動も楽しめました。



CITY

シティ



SIGHT SEEING

サイトシーイング

エクスカーションで アニマルパークへ!

競技の中1日は、エクスカーションで「スコネ動物公園」を訪れました。日本では見られない、大きな角を持ったヘラジカのオスを間近に見ることができ、大興奮!



日本のチームと サポートメンバー

大会へは選手だけでなく、日本チームの団長・副団長・随行人も同行。スウェーデン側ではチームガイドのサラさんがサポートに当たってくれました!

ガイドの
サラさん



チーム TEAM





鈴与シンワート株式会社
Job: デジタルビジネスソリューション事業部
CX グループ
Name: 上町茉未花さん

Kamimachi Mamika

どんな仕事をしているの？

A. 鈴与シンワート株式会社は、静岡を本拠地としている鈴与グループのシステム部門を担うIT企業。私が所属しているのはデジタルビジネスソリューション事業部CXグループです。基本的には、お客様から発注を受けて、システムの導入やインフラ構築、運用保守等をメインに行う部署ですが、私はお客様先で内部のシステム分野の担当をしています。最近ではコンビニエンスストア（コンビニ）事業の会社に出向いて、チケット発行システムに関わっています。システムそのものをつくるというよりは、システムをつくっている会社とコンビニ事業の会社との間で調整などをする仕事。そのほか、市のホームページの中にマイページをつくるという案件にも関わらせていただきました。プロジェクトマネージャーの補佐として参加し、プロジェクトの進捗管理やお客様とのミーティングの調整などを担当しました。

プログラミングを始めたきっかけは？

A. 大学4年生の夏頃です。鈴与シンワートに内定が決まったものの、プログラミングに触れたことがなく、このまま入社するのは不安だと思い、簡単なところから勉強し始めました。独学で勉強するのは難しそうだったので、大学の情報系の友達に教えてもらいました。

大学ではどんな研究をしましたか？

A. 大阪大学（阪大）の外国語学科でロシア語を専攻していました。何かを特別に勉強したくてというよりは、田舎（東北）から都会に出たいという気持ちが強くありました。東北からだとか東京や仙台に進学・就職をする人が多く、関西へ行くのは稀なケースだと思います。外国語学科で阪大を選んだのは、阪大は大阪外国語大学という大学と合併してできた大学なので、扱う言語数が多いからです。ものごとを決める際は、なるべく選択の幅を持ちたいと思っているので、阪大に決めました。ただ、阪大に行くには、父を説得する必要がありました。親世代にとって、東京よりもさらに西へ行くのは一大事。父からは「大学へ行くとしても東京まで。大阪で何かあってもすぐに行けない」と反対をされました。一方、母は神奈川県出身なので、都会で生活することに慣れていました。母が「行きたいなら行けばいいんじゃない」と父を説得して、私を大阪の大学に行かせてくれました。

学生時代のエピソードは？

A. ボート部の活動を頑張っていました。1人乗りから8人乗りまである細長いボートに乗ってレースし、一番早くゴールした人が勝ちというシンプルな競技。合宿所にいたので、家に帰るのも週に2日くらい。とにかく大学時代はボート一色でした。毎朝4時から大阪の淀川で朝練をして、学校に行き、帰って夕練をして…という生活をしていました。阪大の水域の隣に神戸大学の水域があり、普段朝練をするときはお互いの水域を使用しますが、土日の朝やお昼などはお互いがどちらかの水域に行き、そこでレースの練習をしたりしていました。ボート部を選んだ理由は、新歓に行った際に「みんなで一丸となって勝ちを目指そう！」という雰囲気を感じたから。また、カレッジスポーツと呼ばれるボートなら、大学から始めても経験者を追いついて入賞できることもあると聞き、ボート部を選びました。



一番手前が上町さん。大阪の淀川で毎日早朝と放課後にボート部の練習に励んでいた大学時代。

地元、青森・八戸市の風景。奥に見えるのが蕨島神社。ウミネコの繁殖地としても有名。



今後の目標は？

A. 将来はお客様と一緒にものづくりをしていくSler（エスアイヤー）と呼ばれるような仕事ができればいいなと思っています。また、お客様と一緒にシステムをつくっていくうえでも、プログラムの知識は切り離せないものなので、プログラムの知識やシステムのインフラを支えている部分の専門知識を身につけて、いまの業務をしながら、お客様の困っていることを聞く力を磨いていけたらいいなと思っています。

中高生にメッセージをお願いします！

A. 中高生の皆さんは、何か好きなことがあると思うので、「好きなこと＝得意なこと」になれば、大学に行っても社会に出ても楽しい人生が送れると思います。ぜひ頑張ってください！

Company Data

鈴与シンワート株式会社
「共生」の精神を掲げる、国内でも数少ない独立系（中立）のシステムインテグレーター。最新のテクノロジーを活用し、ICTソリューションをワンストップで提供しています。

Comment by Professor Yamaguchi

常に新しいことに挑戦し続けている上町さん。東北から関西の大学進学で、両親はもちろん本人も勇気がある決断なのに、簡単そうに飛び越えています。そのうえ、ボート部でも一生懸命活動されて、すごい！の一言。仕事ではかなりのコミュニケーション能力が必要そうですが、きっと一緒に仕事する方もポジティブにプロジェクトを進めることができるだろうな、と感じさせるインタビューでした。



Mamika Kamimachi's favorites



ボート部の友人と北海道へ旅行に行きました。これは小樽港をバックに撮ったもので、冬だったので雪がたくさん積もっていました。札幌で野生のキツネを見たのも思い出です。



休日はボードゲームカフェへ行くこともあります。写真は上野にあるボードゲームカフェです。さまざまなゲームが揃っていて、一日中いても飽きません。

プライベートを見せたくださう

Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
Job: プロフェッショナルサービス第二本部
ソリューションビジネス部1課

Name: 松本有香さん

Matsumoto Yuka

Q

どんな仕事をしているの？

A. 株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) は、国内初の商用インターネットサービスプロバイダーとして、30年ほど前に設立された会社です。私が所属するプロフェッショナルサービス第二本部は、企業のID管理やデータ連携、IoT 施策などで、IIJ が注力するサービスを主体に、お客様に価値を届けるソリューションの企画からプリセールス、提案、導入を実施しています。具体的には、お客様のIoTのプロジェクトに対して、Microsoft Azure PaaS というパブリッククラウドサービスを使い、少人数のラボ型から成るPoC (Proof of concept : 概念実証) の実行体制を組んで、ソリューションとして提供しています。

Q

やりがいはなんですか？

A. 新しいことにチャレンジできるのはもちろん、いろいろな方のお話を聞いて、考えや価値観をアップデートできることです。また、社内で「セレクトジョブ」という制度があり、副業のように兼務ができるのですが、公募に手を挙

げてチャレンジしたときは、分野の異なる営業部署で働くことができ、すごく楽しかったです。

Q

プログラミングを始めたきっかけは？

A. 大学の授業です。最初は「なんで、これで動くんだろう？」と、理解が追いついていませんでした。こういう風には書けば動くというのはわかる、そんなレベルでやっていました。

Q

大学ではどんな研究をしましたか？

A. 明治大学の総合数理学部を卒業後、大学院に進学しました。大学院では、レーザセンサなどを用いた自律移動ロボットの研究を行う研究室に在籍し、「メガネ型のアイトラッカーを活用したランニング姿勢の改善」について研究していました。人が走っているときの視線を赤外線によってトラッキングして、姿勢が良い悪いなどを通知するシステムをつくりました。通知の方法は音です。ランナーの方など、イ

ヤホンで音楽を聞かれる方が多いので、よくない姿勢のときは雑な音を流すなど工夫しました。太陽が出ると赤外線に影響を与えてトラッキングできなくなってしまうので、難しい場面もありましたね。年に2回ほど国内の学会に参加し、ポ

スターセッションを行いました。福島、仙台、小倉、大阪に行き、学会終わりに研究室のみんなとフグのお刺身を食べて行ったのが思い出です。



学会発表の帰りに、研究室のみんなとフグ刺し「てっさ」を食べました。

Q

理系に進んだ理由は？

A. 建築学部に行きたかったのですが、私が進んだ情報系の総合数理学部は新設の学部だったので、実は軽い気持ちで受験しました。新設されることは父が教えてくれたのですが、情報系って何をやるんだろうと思っていました。新しく楽しそうだし、行ってみようと思ったのがきっかけです。自分のパソコンは持っていたのですが、動画を観たり、音楽を聴いたりする程度。コンソールなどは、ウィンドウを開いて、「こんなことができたんだ！」と驚いたほど。小学校の情報の授業でも、小学生向けのワープロソフト「一太郎スマイル」で手紙を書くなどしか経験がありませんでした。

Company Data

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)

クラウドサービスからインターネット接続サービス、セキュリティサービス、アウトソーシングサービス、システムインテグレーションに至るまで、総合的なサービスを展開。

Q

今後の目標は？

A. 日本の社会に対して貢献ができるITシステムの開発に携わりたいです。日本は超少子高齢化社会ですが、その際発生する課題を、AIや新しい技術を用いて、ダイナミックに変革できたらいいなと常々感じています。

Q

中高生にメッセージをお願いします！

A. プログラミングはあくまで手段だと考えています。その先に何をつくりたいのか、何を成し得たいのかが重要です。私自身、ずっとプログラミングが好きだったわけではないのですが、おもしろい仕事に携わることができるのは、プログラミングのおかげです。また、プログラミングに限らずですが、大好きなことがあり、それができる能力や環境があるのはとても恵まれていると思います。ご家族や周囲の方々に感謝の心を忘れずに、ぜひ極めていってください。

Comment by Professor Yamaguchi

仕事内容とは想像がつかないほど、アクティブな趣味を持つ松本さん。子どものころからずっと活発な様子が素敵です。仕事はなかなか思い通りに進まないこともあると思いますが、その時々状況を楽しみながら対応している様子が伝わってきます。味方してくれる方々が社内にも多いことも、失敗を恐れずに進める理由なのでしょうね。



○○○ < >

Yuka Matsumoto's favorites



休日は、パーソナルジムでの筋トレと家でまったりしながらアニメを観たりすることが多いです。好きなアニメや声優さん関連のイベントがあれば、フットワーク軽く外出します。



旅行が好きです。2022年に友人とウィーンとプラハに行ってきました。プラハでは念願の赤い屋根を見ることができてとてもうれしかったです。ウィーンでは美術館へ行きました。

プライベートを
見せてください



役立つwebサイト&参考書一覧

サイトを
チェックしてみてね

「先輩に聞く!」動画や記事はこちらより詳しい内容が見られます!

<https://www.ioi-jp.org/seminar/course>

検索



プログラミングの勉強を始めてみたいと思ったら?



講習会「JOI 入門講座」(毎月開催中)

<https://www2.ioi-jp.org/intro/index.html>

検索



プログラミング学習教材

AtCoder Programming Guide for beginners

<https://atcoder.jp/contests/APG4b/>

検索



■『JOI公式テキスト Pythonで問題解決 情報オリンピックに出てみよう』(実教出版)

日本情報オリンピック(JOI)の公式テキスト。Pythonを用いてプログラミングとアルゴリズムの基礎を学ぶことができます。

■『競技プログラミングの鉄則～アルゴリズム力と思考力を高める77の技術～』(マイナビ出版)

情報オリンピックOBの著者が、競技プログラミングに必要なアルゴリズムや考察テクニックを解説した入門書です。

例題・演習問題が豊富に用意されています。



情報オリンピック女性部門に参加したいと思ったら?



日本情報オリンピック第5回女性部門(JOIG 2024 / 2025)

第5回の実施要領については2024年6月下旬に公開予定です。それまでは、第4回の実施要領をご覧ください。

<https://www.ioi-jp.org/joig/2023>

検索



大学受験にもメリット

推薦入試等でのメリットにつながります。国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)のページをご覧ください。

https://www.jst.go.jp/cpse/contest/student/pdf/contest2023_0328.pdf

検索

